

2022年12月16日

ベトナムの自動車用ホース製造会社で開所式

住友理工株式会社（本社：名古屋市中村区、代表取締役 執行役員社長：清水和志）は、ベトナムで自動車用ホースを製造・販売するグループ会社、SumiRiko Vietnam Co., Ltd.（略称：SRK-V、本社：ベトナム ビンフック省）で開所式を開催しましたので、お知らせいたします。



5月に稼働を開始した SRK-V



記念植樹で記念撮影に応じる関係者

住友理工グループは、自動車用ゴムホースの十分な生産能力を確保するために、昨年1月にSRK-Vを設立。コロナ禍にありながら、計画を前倒して今年5月に量産を開始しました。SRK-Vは、当社グループへの輸出・供給に特化した製造拠点で、順次生産能力を引き上げ、2025年度のフル稼働を目指しています。

12月中旬に現地で行われた開所式には、お取引先様やSRK-V従業員ら約100名が出席し、当社 取締役会長 松井徹が「コロナ禍のさまざまな困難を乗り越え、竣工から短期間で量産を開始することができたことに謝意を表したい。ここベトナムの地から、グローバルに、高品質な製品を数多く発信・供給していくことを期待する」とあいさつ。SRK-V 社長 木股茂雄は「全世界で、電気自動車（BEV）をはじめとする電動車へのシフトが加速する中、バッテリーなどを冷却するゴムホースは将来も変わらず必要不可欠な製品だ。SRK-V はクルマの未来を支え続けるとともに、地域社会に大きく貢献していく」と抱負を述べました。来賓のビンフック省

工業団地労働組合 バン・ハイ・ニン委員長からは「この1年間、新型コロナウイルスによる大きな影響を受ける中、5月に稼働を開始したSRK-Vが生産を維持し、従業員に安定した雇用を提供していることに深く感銘を受けている。今後も労使が良好な関係を維持し、それぞれの役割と責任を果たしていくこと、そしてSRK-Vがさらに発展していくことを祈念したい」と祝辞をいただきました。この後、記念の植樹や工場見学などを行いました。

当社グループは、サプライチェーン（供給網）の多元化・分散化によるリスク回避などの観点から、より筋肉質な経営体質の構築を目指して、グローバルで拠点網の再編を進めています。その施策の一環として、今回SRK-Vを設立しました。また、脱炭素社会の実現に向け、全世界で電動車、特にBEVの開発・供給が進む中、バッテリーなど電気系統の冷却に用いる水系ホースは、さらなる成長が見込める製品群と認識しています。

住友理工グループは、ベトナムをはじめとする東南アジア地域における自動車用ホースの製造・供給網の強化を通じて、「人・社会・地球の安全・快適・環境に貢献する企業」の実現を目指してまいります。

<SRK-Vの概要>

名称： SumiRiko Vietnam Co., Ltd.
所在地： ベトナム共和国 ビンフック省
事業内容： 自動車用ホースの製造・販売
生産品目： 自動車用ゴムホース（水系ホース、エアー系ホース、燃料系ホース）
資本金： 2,413億ベトナムドン（約14億円） ※1ベトナムドン=0.0058円で換算
出資比率： 住友理工株式会社 100%
設立： 2021年1月
量産開始： 2022年5月
代表者： 社長 木股茂雄
従業員数： 75名（2022年11月末時点）
面積： 土地；25,000㎡ 建屋；13,000㎡
投資額： 計約24億円（～2025年度）

以上

―― 住友理工について ―――

住友理工は1929年に創業し、名古屋市中村区に本社を置くモノづくり企業です。2014年に東海ゴム工業から社名を変更しました。自動車（モビリティ）分野では、振動を制御する世界トップシェアの防振ゴムのほか、ゴム・樹脂ホースや、ウレタン製の制音品・内装品を製造。自動車部品の開発で培った技術を生かし、インフラ・住環境、エレクトロニクス、ヘルスケアの各分野でも事業を展開しています。世界20ヶ国以上に広がるグローバルネットワークを活用して、人・社会・地球の安全・快適・環境に貢献する“Global Excellent Manufacturing Company”を目指しています。

リリースに関するお問い合わせ先
住友理工株式会社

広報IR部 / 〒450-6316 名古屋市中村区名駅一丁目1番1号 JPタワー名古屋
tel 052-571-0259 e-mail product.info@jp.sumitomoriko.com <https://www.sumitomoriko.co.jp/>